

2020年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月14日

上場会社名 株式会社キャリア 上場取引所 東  
 コード番号 6198 URL <https://www.careergift.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 川嶋 一郎  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役(氏名) 羽鳥 雅之 (TEL) 03-6863-9450  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第1四半期の連結業績(2019年10月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	3,150	—	△1	—	△4	—	△11	—
2019年9月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年9月期第1四半期 △12百万円(—%) 2019年9月期第1四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	△1.30	—
2019年9月期第1四半期	—	—

(注) 2019年9月期第2四半期より連結財務諸表を作成しているため、2020年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率並びに2019年9月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第1四半期	3,341	1,307	37.8
2019年9月期	3,131	1,350	41.7

(参考) 自己資本 2020年9月期第1四半期 1,263百万円 2019年9月期 1,306百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	2.50	—	3.75	6.25
2020年9月期	—	—	—	—	—
2020年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日~2020年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,500	—	50	—	48	—	17	—	2.08
通期	13,700	—	150	—	146	—	71	—	8.56

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 2019年9月期第2四半期より連結財務諸表を作成しているため、対前年増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年9月期1Q	8,622,080株	2019年9月期	8,622,080株
2020年9月期1Q	118,600株	2019年9月期	118,600株
2020年9月期1Q	8,503,480株	2019年9月期1Q	8,367,070株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の拡大や雇用、所得環境の改善など緩やかな回復基調が続いているものの、通商問題、海外経済の動向に関する不確実性の高まりにより、引き続き不透明な状況にあります。

人材サービス業界を取り巻く環境におきましては、厚生労働省が発表した2019年11月の有効求人倍率が1.57倍と高水準の状態が継続していることに加え、総務省統計局が発表した2019年11月の完全失業率の指数は2.2%と低水準に留まる等、人材需要は高止まりが続いております。

このような経済状況のもと、当社グループの運営する「高齢化社会型人材サービス」の環境は、内閣府の2019年版高齢社会白書によりますと、当社で定義しておりますアクティブシニア(55歳以上の働く意欲のある人)の労働力人口(55歳以上)は、2018年度の推計で2,050万人(前年対比3.2%増)、総労働力人口の30.0%を占めております。アクティブシニアの労働力人口は、年々増加傾向にあり、当社の事業領域も拡大していくことが見込まれます。このような経営環境の中、当社は継続的な企業価値の向上を実現すべく、既存事業の継続成長及び中長期での業績向上を目的とした新たな取り組みを実施してまいりました。

以上の結果、当社グループの売上高は3,150,756千円、営業損失は1,135千円、経常損失は4,231千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は11,050千円となりました。

なお、前第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較については記載しておりません。

なお、当社グループは、「高齢化社会型人材サービス」の単一セグメントであります。事業別の業績を示すと以下のとおりであります。

#### ① シニアワーク事業

シニアワーク事業は、主にコールセンター、公共機関における事務作業を行うホワイトカラー職種及びビルメンテナンス、ベッドメイキング、ロジスティックスなど、身体的な作業を行うブルーカラー職種の2分野においてアクティブシニアの人材派遣、人材紹介及び業務請負を行っております。

ホワイトカラー職種においては引き続き旺盛な需要と供給力を強みに2019年10月から熊本支店で当該職種の取り扱いを開始し、ブルーカラー職種においては2019年10月に仙台支店で新たに当該職種の取り扱いを開始するとともに2020年1月から横浜支店、神戸支店で当該職種の取り扱い開始を決定するなど、引き続き既存事業の業績拡大に努めてまいりました。また、2019年10月より新規業種開拓の専門部署を設立し新規取り扱い業種のトライアルを実施するなど、中長期での成長力強化に努めてまいりました。

この結果、シニアワーク事業の売上高は1,157,037千円となりました。

#### ② シニアケア事業

シニアケア事業は、主に介護施設に対して、看護師や介護士等の有資格者の人材派遣、人材紹介及び紹介予定派遣を行っております。

2019年10月に新たに高知支店を開設するとともに、既存支店内での担当地域細分化により新たに4チームを設立し、営業活動の深堀を図ることで既存事業の業績拡大に努めてまいりました。また、2019年10月の人材紹介専門部署設立及び訪問介護事業の準備を進めるなど、中長期での成長力強化に努めてまいりました。

この結果、シニアケア事業の売上高は1,993,718千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金、売掛金が増加したことなどにより、前連結会計年度末と比較して210,895千円増加し、3,341,994千円となりました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、未払法人税等、賞与引当金などが減少したものの、未払費用、流動負債のその他が増加したことなどにより、前連結会計年度末と比較して252,995千円増加し、2,034,084千円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上、剰余金の配当などにより、前連結会計年度末と比較して42,100千円減少し、1,307,910千円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の41.7%から37.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の業績予想につきましては、2019年11月14日に公表した連結通期業績からの変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,211,784	1,323,766
売掛金	1,272,289	1,337,124
その他	64,953	108,512
貸倒引当金	△2,106	△976
流動資産合計	2,546,920	2,768,425
固定資産		
有形固定資産	43,346	40,580
無形固定資産		
のれん	282,765	266,088
その他	37,952	47,726
無形固定資産合計	320,717	313,815
投資その他の資産	220,114	219,172
固定資産合計	584,178	573,568
資産合計	3,131,099	3,341,994
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	715,408	710,410
未払費用	640,905	684,161
未払法人税等	19,723	5,843
賞与引当金	37,781	19,798
返金引当金	91	10
その他	312,385	561,513
流動負債合計	1,726,295	1,981,736
固定負債		
長期借入金	5,298	4,788
資産除去債務	49,494	47,559
固定負債合計	54,792	52,347
負債合計	1,781,088	2,034,084
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	157,310	157,310
資本剰余金	137,310	137,310
利益剰余金	1,163,976	1,121,038
自己株式	△152,306	△152,306
株主資本合計	1,306,290	1,263,352
新株予約権	13,762	15,935
非支配株主持分	29,957	28,622
純資産合計	1,350,010	1,307,910
負債純資産合計	3,131,099	3,341,994

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
売上高	3,150,756
売上原価	2,503,382
売上総利益	647,373
販売費及び一般管理費	648,509
営業損失(△)	△1,135
営業外収益	
受取利息	17
助成金収入	408
その他	86
営業外収益合計	512
営業外費用	
支払利息	827
持分法による投資損失	2,779
その他	0
営業外費用合計	3,607
経常損失(△)	△4,231
税金等調整前四半期純損失(△)	△4,231
法人税、住民税及び事業税	2,220
法人税等調整額	5,934
法人税等合計	8,154
四半期純損失(△)	△12,385
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,335
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,050

## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△12,385
四半期包括利益	△12,385
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△11,050
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,335



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

当社は、高齢化社会型人材サービスの単一セグメントであるため、記載を省略しております。